

小学校新学習指導要領準拠

みんなで、

よりよい学級・学校生活をつくる

小学校編

特別活動

自分で決めて
がんばるって
大事だ

学級会などで
学級や学校の生活が
楽しくなる

児童の
笑顔

保護者の
信頼

教師の
やりがい

一人一人が
役に立つ喜びを
感じている

児童と共に
悩み 喜び
成長できる

子供も先生も
みんな仲よく
生き生きしている

学級集団の
高まりが
実感できる

今こそ、 特別活動の充実を!

各教科等で育成した資質・能力を、
実践的な活動を通して、
社会生活に生きて働く汎用的な力
として育成します。

学級経営に役立ちます

- みんなでよりよい学級生活を目指す活動を通して、学級集団の協働性を高めます。
- 役に立つ喜びを実感し、互いのよさを認め合う活動で、一人一人が大切にされる学級になります。

学力向上につながります

- 学級会などで身に付けた集団で問題を解決していく力は、各教科等の学習に生かされます。
- 児童が自主的によりよい生活や人間関係を築くことにより、学び合う学級の雰囲気がつくれ、学び意欲が高まります。

キャリア教育の要です

- 学級や学校の一員として役割を果たすことにより、自立して生きるために必要な能力や態度を育てます。
- よさや可能性を生かして努力する活動を通して、なりたい自分の実現につなげます。(キャリア形成)

生徒指導上の問題を未然防止します

- 互いの人格を尊重し合って生きることの大切さを学ぶことにより、いじめの未然防止等につながります。
- 自分で決めて、自分でがんばる活動の場や機会を通して、自己指導能力を高めます。

道徳的実践に結び付きます

- 特別活動における集団活動や体験活動は、道徳的な実践の中心的な学習活動の場として、道徳教育において重要な役割を果たします。
- 実践を通して学ぶ特別活動と、心を育てる道徳科を関連させることにより、自己の生き方についての考えを深めます。

【作成協力委員】 ※職名は平成30年7月現在

新垣寿志 那覇市立教育研究所指導主事
池田洋士 北九州市立小石小学校長
小笠原陽二 愛媛県松山市立味酒小学校教頭
川原陽子 広島県庄原市立美古登小学校教頭
川本和孝 玉川大学TAPセンター准教授

佐藤真理子 秋田県仙北市立角館小学校教諭
嶋田克彦 横浜市立峯小学校長
清水弘美 東京都八王子市立浅川小学校長
杉田 洋 國學院大学人間開発学部教授
鈴木 恵 さいたま市立大谷場中学校教諭

芳賀正志 滋賀県大津市立堅田小学校教諭
橋谷由紀 日本体育大学児童スポーツ教育学部教授
前田 学 京都市立松陽小学校長
山崎邦彦 福岡県宗像市立玄海東小学校主幹教諭
渡邊 淳 埼玉県加須市教育委員会主幹兼指導主事

(敬称略 五十音順)

平成30年7月

文部科学省 国立教育政策研究所 教育課程研究センター



文部科学省
国立教育政策研究所
NIEP National Institute for Educational Policy Research

<編集・発行> 教育課程研究センター 平成30年7月
TEL : 03-6733-6825 FAX : 03-6733-6978
URL : http://www.nier.go.jp/04_kenkyu_annai/div08-katei.html

国立教育政策研究所においては、安部恭子教育課程調査官（文部科学省初等中等教育局教科調査官）が作成・編集にあたった。

特別活動の目標

集団や社会の形成者としての見方・考え方を働かせ、様々な集団活動に自主的、実践的に取り組み、互いのよさや可能性を発揮しながら集団や自己の生活上の課題を解決することを通して、次のとおり資質・能力を育成することを目指す。

- (1) 多様な他者と協働する様々な集団活動の意義や活動を行う上で必要となることについて理解し、行動の仕方を身に付けるようにする。
- (2) 集団や自己の生活、人間関係の課題を見だし、解決するために話し合い、合意形成を図ったり、意思決定したりすることができるようにする。
- (3) 自主的、実践的な集団活動を通して身に付けたことを生かして、集団や社会における生活及び人間関係をよりよく形成するとともに、自己の生き方についての考えを深め、自己実現を図ろうとする態度を養う。

目次

◇ 学習指導要領 改訂のポイント	3
◇ 学級活動、児童会活動、クラブ活動、学校行事を通して、児童が豊かに育ちます	4
学級活動(1)	
特質を踏まえた学級活動の実践	6
「話し合いの充実」を図る学級会の事前の指導	7
思いを実現し、豊かな学級や学校の生活をつくる学級活動(1)	8
次の活動へつなげる学級会の事後の指導	10
学級生活を楽しく豊かにする係活動・集会活動	11
学級活動(2)	
現在の自分を見つめ、自己の成長を考える学級活動(2)	12
学級活動(3)	
将来を見通し、なりたい自分に向けて努力する学級活動(3)	14
児童会活動	
自発的、自治的な活動で、学校生活を楽しく豊かにする児童会活動	16
クラブ活動	
共通の興味・関心を異年齢集団で追求するクラブ活動	18
学校行事	
学校の特色を生かし、学校生活の折り目や彩りとなる学校行事	20
教室環境	
特別活動の充実につながる教室環境の工夫	22

学習指導要領 改訂のポイント

特別活動において育成すべき資質・能力の重要な視点

人間関係形成

違いを認め合い、みんなと共に生きていく力を育てます。

社会参画

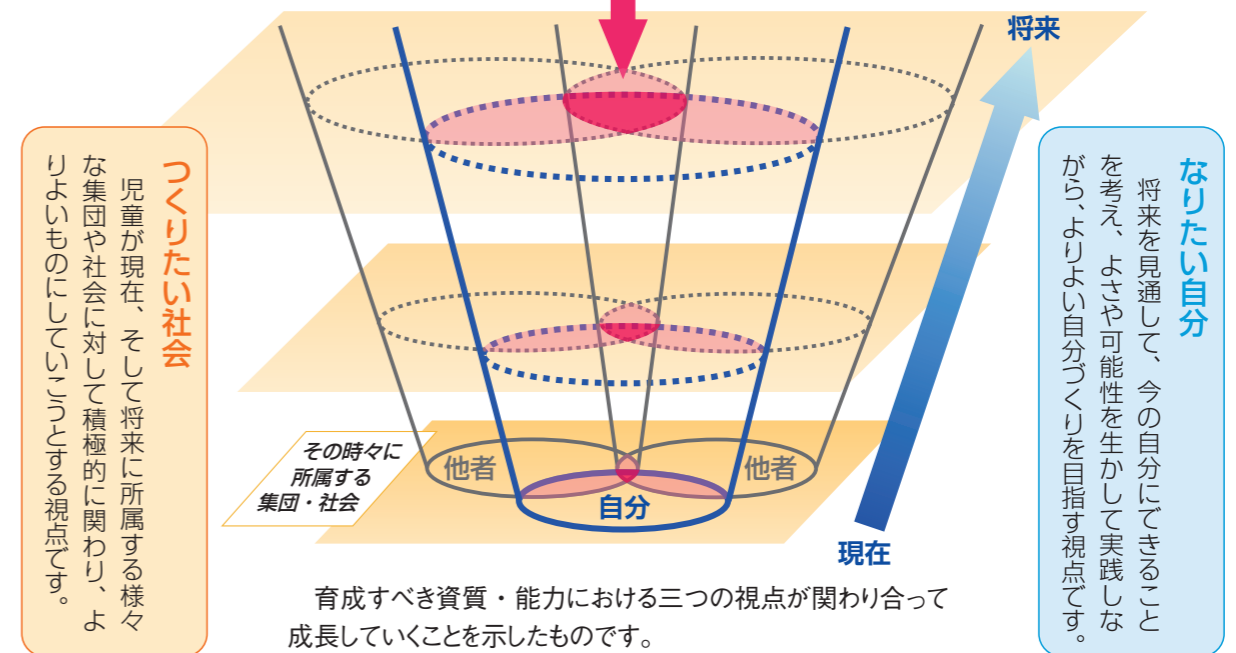
よりよい集団や社会をつくらうとする力を育てます。

自己実現

なりたい自分に向けてがんばる力を育てます。

築きたい人間関係

「個と個」や「個と集団」の関わりの中で、互いのよさを生かし、協働して取り組み、よりよい人間関係を築こうとする視点です。



特別活動における「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善

主体的な学び

学校や学級の実態、自己の現状に即して自ら課題を見だし、解決方法を実践したり振り返ったりしながら、生活をよりよくしようとしていくこと。

対話的な学び

生活上の課題を解決するために合意形成を図ったり、意思決定したりする話し合いの中で様々な意見に触れ、考えを広げたり多面的・多角的に考えたりすること。

深い学び

「集団や社会の形成者としての見方・考え方」を働かせながら、問題の発見、課題の設定から振り返りまでの一連の活動を繰り返す中で、各教科等の特質に応じた「見方・考え方」を総合的に生かし、知識・技能などを集団及び自己の問題の解決に活用していくこと。

○児童一人一人が自分の成長を実感できます

協力できたことで誰とでもなかよくできるようになった。

自分から進んで話せるようになったら，友達が増えた。

友達のおかげで自分のよさに気付くことができた。

みんなで一つのことに取り組んで，一人では味わえない喜びを知った。

たくさん話し合っていくうちに，様々な考え方があることに気付いた。

人との豊かな関わりを通して自ら学び，自分に自信をもつことができるようになります。

○よりよい集団の育成に結び付きます

学級や学校を，学級活動・児童会活動・クラブ活動・学校行事における **多様な集団活動** を通して，**支え合い，高め合う集団** にしていくことができます。

自分の考えをきちんと伝えることができる学級

進んであいさつができる学級

困っている友達にやさしく声をかけ合える学級

そうじに進んで取り組むことができる学級

教え合い，励まし合える学級

自分たちが作ったものを大切にすることができる学級

見通しをもって活動を進めていける学級

元気な歌を歌うことができる学級

みんなと一緒に物事を解決していくことができる学級

学級経営の充実

「学級活動(1)の充実」がポイントです

集団や社会の形成者としての見方・考え方を働かせながら，児童がよりよい自分や学級・学校生活，人間関係をつくる活動を通して

共生社会でよりよく生きる力を獲得することができます

○学校は人と人が関わり合う一つの社会です

学校はまさに社会の縮図であり，児童にとって一番身近な社会です。そして，学校生活そのものを教育の対象としているのが特別活動です。

学級活動	児童会活動	クラブ活動	学校行事
学級生活の充実と向上に向け，他者と協働しながらよりよい学級や学校生活をつくる	全児童で組織し，自発的，自治的に活動することを通して学校生活を楽しく豊かにする	異なる学年の友達と趣味を同じくし，個性を伸ばし生活を豊かにする	地域や自然との関わりや，多様な文化や人との触れ合いを通して，学校の文化をつくる
お楽しみ会など	長なわ集会など	球技クラブなど	修学旅行・運動会など

特別活動での体験や経験が，大人になっても忘れられない思い出となります。

職場，家庭へ	自治会，議会へ	サークル，同好会へ	地域行事，催しへ
同僚や家族とともに，よりよい集団や社会をつくる	自分たちの地域や社会を，話し合いと実践を通してよりよくする	仲間をつくり，好きなことを伸ばしながら絆を深め，人生を楽しむ	集団の一員としての自覚をもち，様々な行事を通して地域等の愛着をもつ

特別活動で実践し学んだことが，将来の様々な集団での生き方につながります。

保護者や地域の方の理解と協力を得ることで成果が上げられる特別活動においては，通知表の特別活動の記録欄や学校だより等で，児童の活躍の様子やよさについて積極的に伝えるようにしましょう。

Information

◆ 特別活動を通したよりよい生活や人間関係づくりは，**学力と相互に関連します。**◆

ペーパーテスト調査と質問紙調査のクロス集計を行ったところ，特別活動に熱心に取り組む教師の学級や特別活動の取組に対して肯定的に回答した児童が多い学級ほど，多くの教科において平均正答率が高いという分析結果が出ています。
平成24年度「小学校学習指導要領実施状況調査」(国立教育政策研究所)

◆ 海外も**“Tokkatsu”**に注目◆

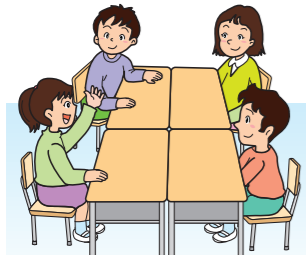
集団で協力し合い，問題を解決していく特別活動が，日本式の教育として海外の教育関係者から注目されています。

特質を踏まえた学級活動の実践

学級活動は(1)(2)(3)の三つの内容があり、基本的な学習過程は、学級活動(1)と学級活動(2)(3)の二つに分けることができます。各活動の特質に即し、教師の適切な指導の下、自主的、実践的な活動を積み重ねることで、児童の自治的能力や自己指導能力、自己実現の力を高めます。

「話し合いの充実」を図る学級会の事前の指導

課題解決の必要性を共有するとともに、話し合いの計画を立て、解決に向けて自分の考えがもてるようにします。



学級活動は、学校生活において最も身近で基礎的な所属集団である「学級」を基盤とした活動です。様々な集団活動を通して、学級や学校生活の中から集団や個人の課題を見だし解決するための方法や内容をみんなで話し合い、集団として「合意形成」を図り協力して実践したり、一人一人が自己の課題の解決方法について「意思決定」し実践したりして、よりよい生活や人間関係を築き、学校生活の充実と向上を図ります。

学級活動(1)と(2)(3)の学習過程(例)

(1)学級や学校における生活づくりへの参画

(1)は全員で協力して楽しく豊かな学級・学校生活にするために、みんなで取り組みたいこと、つくってみたいこと、解決したいことなどの課題を取り上げる。

(2)日常生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全 (3)一人一人のキャリア形成と自己実現

(2)は現在の生活上の課題、(3)は現在及び将来を見通した生活や学習に関する課題を取り上げる。

事前の活動

① 問題の発見・確認

生活上の諸問題から課題を見だし、学級全員で「**議題**」を決定する。

日常生活における共通の問題から教師が「**題材**」を設定する。

本時の活動・話し合い活動

② 解決方法等の話し合い

内容や方法、役割分担などについて意見を出し合ったり、くらべ合ったりしながら話し合う。

原因や改善の必要性を探ったり、具体的な解決方法を見付けたりするために話し合う。

③ 解決方法の決定

意見の違いや多様性を認め合い、折り合いをつけて集団として「**合意形成**」を図る。

話し合いを生かして、自分に合った具体的な解決方法や個人目標を一人一人が「**意思決定**」する。

事後の活動

④ 決めたことの実践

決定したことについて、自己の役割を果たしたり、互いのよさを生かして協働して実践したりする。

意思決定した解決方法をもとに目標の実現に向けて、個人で実践し粘り強く努力する。

⑤ 振り返り

一連の実践の成果や課題を振り返り、次の課題解決に生かす。

実践を定期的に振り返り、意識化を図るとともに、次の課題解決に生かす。

● 議題「〇〇さんをむかえる会をしよう」(第3学年)を例に

① 問題の発見

C「転校してきた〇〇さんに学級のことを知ってもらい、仲よくなれるような集会がしたいな。」
T「なるほど。議題ポストに提案してごらん。」



② 議題の選定(計画委員会)

T「議題案をいくつか選びましょう。」
C「選ばなかった議題案は、各提案者にどうするか伝えよう。」

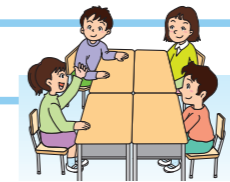


③ 議題の決定(学級全員)

T「学級の全員に関係があって、今、話し合う必要がある議題はどれでしょう。」
C「今回は『〇〇さんをむかえる会をしよう』について話し合おう。」

④ 活動計画の作成(計画委員会・提案者)

T「提案理由や話し合うこと、話し合いのめあてなど、学級会の計画を立て、準備をしましょう。」
C「学級会では、どんなことをするか、どんな工夫ができるか、などについて話し合おう。」



⑤ 問題の意識化

T「学級会ノートに自分の考えを書いておきましょう。」
C「活動計画をもとに、意見を掲示したり、進行の仕方を確かめたりしよう。」(計画委員)



議題の集め方



- 議題ポストへの提案から。
- 朝の会や帰りの会で、話題になったものから。
- 学級日誌などに書かれていることから。
- 係活動や当番活動の感想から。
- 代表委員会や各委員会などの児童会から依頼されたこと、または学級から児童会に提案したいことから。
- これまでの活動の振り返りから。

◎学級経営方針に基づいて教師が課題を示すことなども考えられます。

計画委員会での主な準備

- 「**提案理由**」を具体的な内容にします。
- ◎提案者の思いを大切にしながら、「何のために活動するのか」「どのように活動するのか」を明確に示します。
- 【提案理由に入れる内容(例)】
 - ① 現状の問題点(今、こうなっている)
 - ② 考えられる解決の方法(こうすることで)
 - ③ 解決後のイメージ(こうしたい、こうなりたい)
- 「**話し合うこと**」を決めます。
- ◎1単位時間をかけて話し合う必要のある内容にします。
- ◎例えば、「何をするか」「どのようにするか」「役割分担はどうか」などが考えられます。発達の段階を踏まえ、「どのようにするか」に重点を置くようにします。
- 「**話し合いのめあて**」を決めることもあります。
- ◎次のような場合、めあてを設定することもあります。
- ◎提案理由を明確にしたい場合。
- ◎前回の話し合いの課題や、話し合いの仕方をめあてとしたい場合。
- **役割を分担し、進め方や気を付けることを確認**します。
- 「**決まっていること**」を確認します。

思いを実現し、豊かな学級や学校の生活をつくる学級活動(1)

学級会では、児童の思いや願いを話し合いの中心に据えて行います。教師は、発達の段階に応じた適切な指導・助言を行い、児童が提案理由を踏まえながら自分たちでよりよい合意形成ができるようにします。

●学級活動「(1)学級や学校における生活づくりへの参画」/議題「〇〇さん をむかえる会をしよう」(第3学年)を例に

事前の活動

①問題の発見

○学級生活がもっとよくなることやみんなでしたいこと、つくりたいものはないかなど、生活の中から議題を見つけます。

②議題の選定(計画委員会)

○学級の全員で話し合うべき問題かどうかを考え、議題を選定します。

③議題の決定

○学級の全員に提示し、全員で議題を決定します。

④活動計画の作成(計画委員会)

○提案理由や話し合うことを決め、学級会の進め方の計画を立てます。

⑤問題の意識化

○学級活動コーナーなどを活用して、議題に対する意識を高めます。

○学級活動ノートに、自分の考えをまとめることで、自分の意見をもって話し合いに臨んだり、理由を付けて発言したりすることができます。

○「きまっていること」を掲示することで、場所や時間、行うゲームの数など、話し合う上での「条件」を明確にして話し合うことができます。そのまま動かして黒板に貼るなどして、活用することもできます。

学級活動コーナー

きまっていること

- ① 6月27日(金)5校時
- ② 教室で行う
- ③ ゲームは2つ(30分間)

大まかなプログラムを示しておくことで何を決めるかが分かりやすくなります。

むかえる会プログラム

- ① はじめの言葉
- ② 歌
- ③ ゲーム
- ④ かんそう
- ⑤ おわりの言葉

(1)ア 学級や学校における生活づくりへの参画

児童の思いや願い・前時の振り返り・年間指導計画

議題や話し合いの進め方の理解

●議題の内容や話し合うことを理解し、提案理由やめあてにもとづいて、一人一人が自分の考えを再確認したり、学級会の時間配分や進め方を共通理解したりします。

解決方法等 の話し合い

出し合う

●一人一人の思いや願いを大切にしながら、「話し合うこと」について自分の考えを発表し合います。

くらべ合う

●よりよい解決方法等を見つけるために、質疑応答を通して意見の共通点や相違点を確かめたり、賛成意見や反対意見などを述べたりしながら話し合います。

まとめる(決める)

●いろいろな意見の違いを認め合い、折り合いをつけるなどして、みんなの考えをまとめ、合意形成を図ります。

話し合うことの明確化

○今何について話し合っているかを矢印やマークなどで示し、集中して考えられるようにします。

見通しをもつために

○めやすの時間を示すことで、時間を意識して話し合うことができるようにします。
○重点を置く内容に、より多くの時間をかけられるようにします。

教師の指導・助言

○提案理由やめあてに沿って話し合いが進められるように、指導助言を行います。
○司会グループの児童だけではなく、全員に対して助言し、学級全体の話し合いの力が高まるようにします。
○相手を傷つけるような発言があったときは、適切な指導を行います。

六月二十日 第五回 学きゆう会

ぎだい

〇〇さんをむかえる会をしよう

ていあん理由

話し合いのめあて

・みんなのことを知って、よきことでもらえるよきこと、かんげい会の内ようとう工ふうを決めよう。
・友だちの意見にこたえてはつよい。

話し合いのめあて

① ゲームは何をするか

② リーダーさがし

③ フルーツバスケット

④ じゃんけんバスケット

⑤ わたしはだれでしょうクイズ

⑥ ミのニクイズ

⑦ 〇〇さんのすきなフルーツにする

⑧ フルーツバスケット

⑨ ゲームのエふう

⑩ 話し合うこと

⑪ きまってること

⑫ 話し合いのめあて

⑬ きまってること

⑭ 先生の話

⑮ きまってること

⑯ きまってること

⑰ きまってること

⑱ きまってること

⑲ きまってること

⑳ きまってること

㉑ きまってること

㉒ きまってること

㉓ きまってること

㉔ きまってること

㉕ きまってること

㉖ きまってること

㉗ きまってること

㉘ きまってること

㉙ きまってること

㉚ きまってること

㉛ きまってること

㉜ きまってること

㉝ きまってること

㉞ きまってること

㉟ きまってること

㊱ きまってること

㊲ きまってること

㊳ きまってること

㊴ きまってること

㊵ きまってること

㊶ きまってること

㊷ きまってること

㊸ きまってること

㊹ きまってること

㊺ きまってること

㊻ きまってること

㊼ きまってること

㊽ きまってること

㊾ きまってること

㊿ きまってること

先生の話

○発達の段階や児童の実態を踏まえながら、今回の学級会でよかったことや次回への課題を話し、よりよく合意形成を図って話し合うことができるようになります。
○司会グループへの称賛、学級全体へ実践意欲を高める声かけなども考えられます。

クイズとバスケットに分けて提示すると分かりやすいね。

思考の可視化・操作化・構造化

○賛成・反対マークを色を変えて貼ることで、話し合いの状況や経過が分かりやすくなります。
○意見を書いたカードなどを操作しながら、意見を分類・整理することで、意見をくらべやすくなります。
○必要に応じて、思考ツールなどを適切に取り入れることで、考えを深めたり、まとめたりすることにつながります。

事後の活動

決めたことの実践

決めたことの確認

●「集会の内よう」や「みんなのことを知って〇〇さんよきことでもらう工ふう」を確かめ、実践への見通しをもつようにします。

むかえる会の内容

「フルーツバスケット」
「3の3クイズ」

〇〇さんをむかえる会の準備

●全員で役割を分担し、協力して準備を行います。

●話し合って決めたことを全員で協力し合って実践します。



楽しい会にして〇〇さんに喜んでもらいたいな。

振り返り

●学級活動ノートに振り返りの欄をつくるなどして、児童が実践の振り返りを行うことができるようにします。

提案理由やめあてを意識して、集会を行うことができましたか。

●実践の様子や振り返りを学級活動コーナーに掲示したり、学級のあゆみとして残したりすることで、次の学級会や実践に生かすことができます。

次の課題解決へ

次の活動へつなげる 学級会の事後の指導

話し合って決まったことや役割分担したことなどは、学級活動コーナーに示し、常に確認できるようにすることで実践意欲を高めます。

学級生活を楽しく豊かにする 係活動・集会活動

係活動は、児童が自分たちの力で学級生活を楽しく豊かにするために話し合って係の組織をつくり、仕事を分担し、創意工夫して協力して実践する自発的、自治的な活動です。
集会活動は、教師の適切な指導のもと、児童が計画・運営しながら楽しく充実した学級生活や仲間をつくる活動です。

● 議題「〇〇さんをむかえる会をしよう」(第3学年)を例に

① 決めたことの確認・準備

T「決まったことや役割分担の確認をしましょう。」
C「役割や仕事の分担が決まったら、協力して準備をしよう。」
C「みんなが楽しくなるように工夫しよう。」



② 決めたことの実践

T「提案理由を意識して、みんな協力して楽しい集会にしましょう。」
C「時間にも気をくばって進めよう。」

【〇〇さんをむかえる会(例)】

- ① はじめの言葉
- ② 学びゅうの歌
- ③ みんなからのメッセージ
- ④ ゲーム
・フルーツバスケット
・3の3クイズ
- ⑤ かんそう発表
- ⑥ 先生の話
- ⑦ おわりの言葉

個人や集団のよかったことを称賛し、実践意欲を高めるようにします。



③ 一連の活動の振り返り

T「提案理由やめあてを意識して、活動することができましたか。」
C「みんなが仲よくなって笑顔が増えたと思います。」
C「〇〇さんが喜んでくれたので、よかったと思います。」
〇〇「一言メッセージでみんなのことが分かってよかったです。」

実践

- 合意形成をしたことをもとに役割分担し、全員で協力して、目標の実現を目指すようにします。
- 友達と協力して準備し、仲よく実践する中で、自分のよさを発揮したり、互いのよさや頑張りに気付いたりすることができるようにします。
- 学級の一員としての所属感を高めます。

振り返り

- 実践後に、感想を発表したり、振り返りカードを書いたりして、反省だけでなく、互いのよさや頑張りを認め合うようにします。
- 提案理由やめあてに沿った振り返りをします。
- よさを見付ける視点について指導し、自分の言動を振り返る自己評価や互いのよさを認め合う相互評価を取り入れ、成果と課題について整理することも大切です。
- 事前・本時・事後の活動を振り返り、次に生かすことで成長することができます。

次の活動へのステップ

- ◎「振り返り」は、次の活動へのステップです。活動で得た「満足感」や「充実感」は、次の活動のエネルギーとなります。**振り返りを生かす**、新たな議題の提案など、次の課題解決へ結び付けるようにします。
- ◎活動の実践後に学級活動コーナーに実践したことを掲示し、活動の歩みを残すことも大切です。また、学級だより等を通じて、家庭にも活動の様子や成果を伝えることで理解と協力を得られるようにします。

係活動の指導のポイント

係活動と当番活動の違いを明確に

教師が意識して指導するだけでなく、児童にも係活動と当番活動の違いが明確に理解できるようにします。低学年では、当番的な活動から、工夫が広がる活動になるように言葉かけを行うことが考えられます。

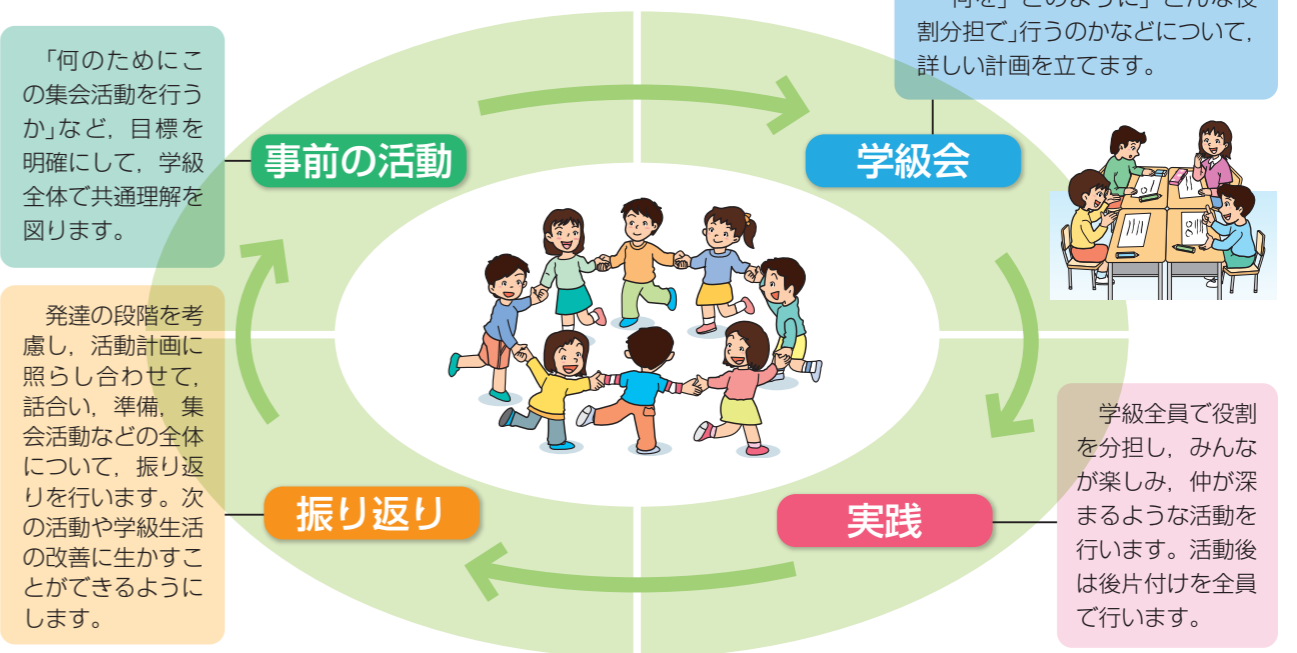
係活動	当番活動
学級生活を共に楽しく豊かにするために児童が仕事を見だし、 創意工夫 して自主的、実践的に取り組む活動です。	学級生活が円滑に運営されていくために、学級の仕事を 全員で分担 し、担当する活動です。

創意工夫し、協力して係活動に取り組む

- 係の種類や活動内容については、係ごとに考えたり、学級会等で話し合ったりして創意工夫して取り組めるようにします。
- 学級の係活動全体が盛り上がるように、係活動コーナーやアイデアを出し合える係ポストを設置したり、朝の会や帰りの会で取組を報告し合ったりすることも効果的です。
- 係活動発表会を行うことによって、互いの係のよさを認め合ったり、活動内容の工夫改善に生かしたり、係相互の交流や協力につながったりして、活性化が図られます。

活動のめあてに沿った振り返りを行うことも大切です。

集会活動の指導のポイント



【集会活動の例】

- <お楽しみ会的な集会活動> ゲーム集会/クイズ大会/〇学期がんばったね集会
- <スポーツ的な集会活動> 大なわチャレンジ集会/学級オリンピック集会
- <文化的な集会活動> 学級音楽会/読書コンクール/新聞コンクール/劇の発表会

多様な集会活動についてのオリエンテーションを行うことで、みんなで作る楽しみ、仲が深まるような活動を行います。活動後は後片付けを全員で行います。

現在の自分を見つめ、自己の成長を考える 学級活動(2)

資料を効果的に活用し、日々の生活の向上のために、児童一人一人が自らの生活や学習の目標を決め、その実現に向けて取り組むことができるようにします。

●学級活動「(2)日常の生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全」／ 題材「友だちを大切に」(第4学年)を例に

事前の活動

事前のアンケート

しつ問①
○友だちからなか間はずれやむしをされたり、かげ口を言われたりしたことがありますか。

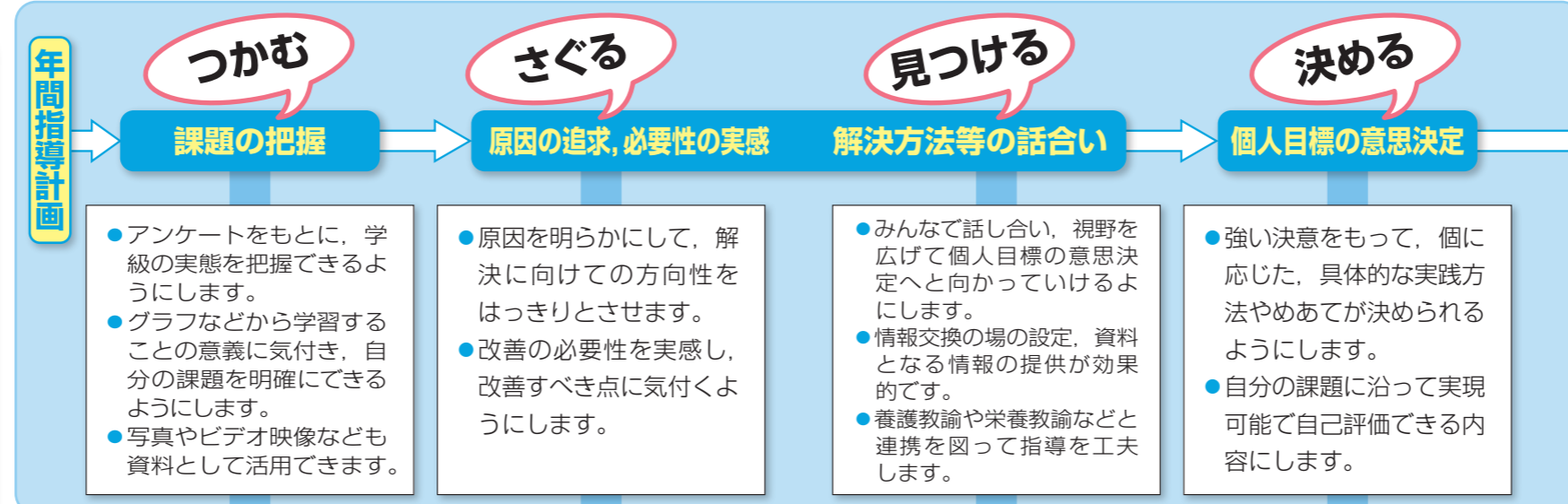
しつ問②
○友だちに対してなか間はずれやむしをしたり、かげ口を言ったりしたことがありますか。

●事前アンケートはグラフなどにし、教室内に掲示しておきます。
●グラフを見て気付いたことを簡単に交流しておく、本時の課題につながります。

「仲間はずれ、無視、陰口」をした経験、された経験がある小学生の割合は、9割以上です。
国立教育政策研究所
いじめ追跡調査より
平成28年6月

いじめの未然防止のためには、児童がいじめの問題を自分のこととしてとらえ、正面から向き合うことができるかどうか大きなポイントといえます。
「いじめ防止等のための基本的な方針(平成25年文部科学大臣決定、平成29年最終改定)」には、いじめ未然防止のための教育活動として、学級活動の重要性が示されています。

(2)イ よりよい人間関係の形成



私も、友だちにいやなことをされたことがあるな。
 どんなことが原因でトラブルになるのかな。
 どんな解決方法があるか、みんなで話し合おう。
 私は、このめあてや方法でやってみよう。

四年生の板書例

12/8 友だちを大切に

つかむ
グラフ① 「なか間はずれ」「むし」「かげ口」をしたことがある。
はい 8人、いいえ 22人

さぐる
グラフ② 「なか間はずれ」「むし」「かげ口」をされたことがある。
はい 25人、いいえ 5人

見つける
なかよくする方法
・やさしい言葉をつかう「ありがとう」「がんばって」
・むっとして、5秒間考える
・休み時間、友だちをさそって遊ぶ「一しょに遊ぼう」

決める
これからがんばること
・友だちに声をかけることが少なかったため、自分から友だちをさそって遊ぶ。
・こまっている友だちを見かけたら、声をかける。
・一日5回いじょうやさしいことばで話しかける。
・友だちの悪口を言ったことがあるので、これからは、自分がされていやなことは人にはぜったいにしない。

児童の問題意識を高めるために、資料等を活用します。
 学習の流れが分かるように事前に板書計画を立てます。
 生活を振り返り、原因を明らかにします。
 話し合いにより、個々の考えを深めたり、広めたりします。
 具体的な実践方法を一人一人が意思決定できるようにします。

事後の活動

実行する 決めたことの実践

学級活動がんばりカード (例)

1 わたしの目ひょう
毎日、友だちにやさしいことばを5回以上かける。

2 行動をふりかえろう!

15日	16日	17日	18日	19日
◎	○	◎	◎	○

振り返り
1週間程度やってみて、実践状況を話し合う。

この1週間、自分の目標に向けて、とてもよくがんばることができた。

帰りの会などでも実践を振り返りましょう。

これからも、よりよい生活をつくっていこう。

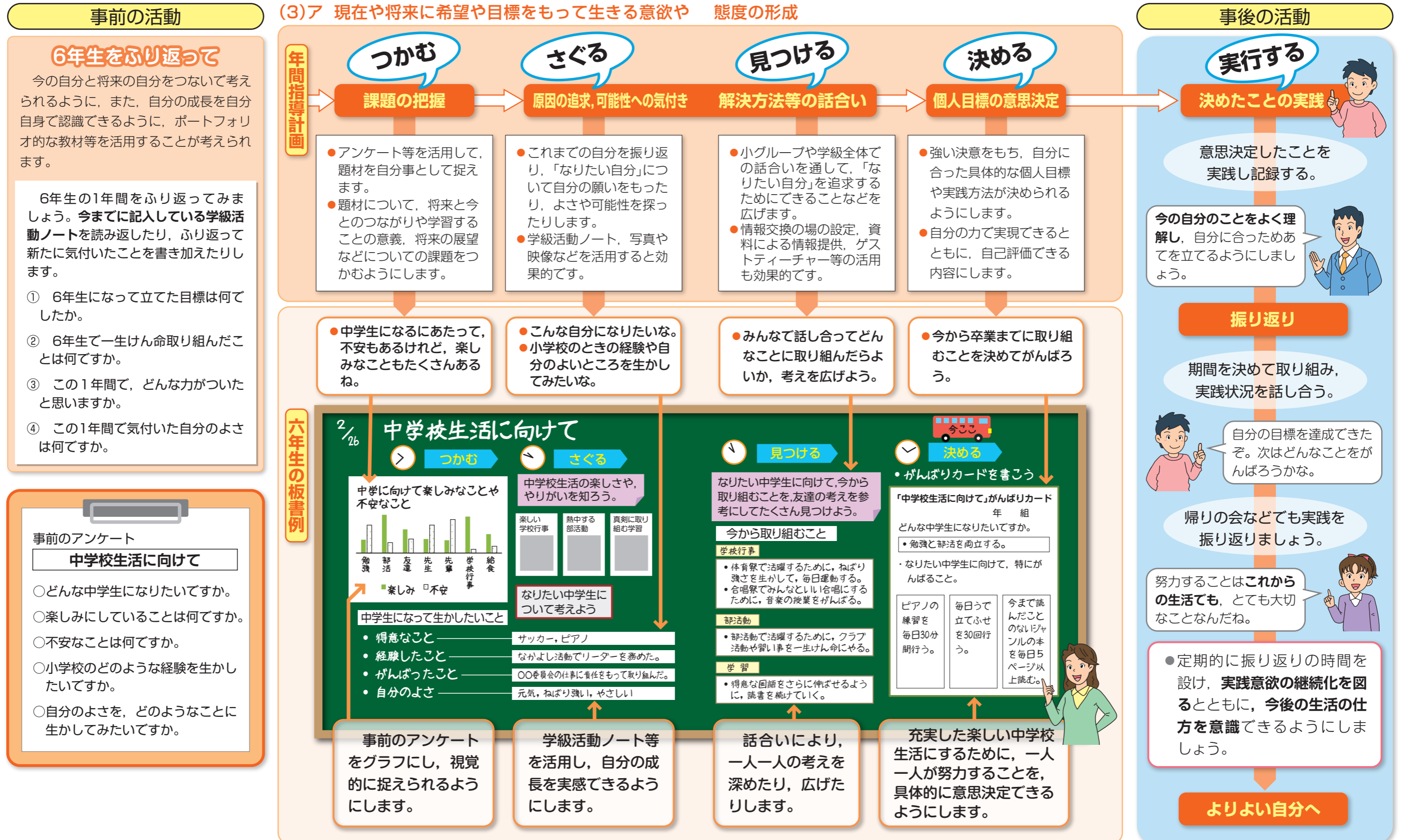
- 定期的に振り返りの時間を設け、実践意欲の継続化を図りましょう。
- 学年、学級だより等で家庭と連携し、日常生活での意識化を図りましょう。

次の課題解決へ

将来を見通し、なりたい自分に向けて努力する学級活動(3)

特別活動はキャリア教育の要としての役割を担っています。これまでの活動を振り返るとともに、これからの学びや生き方を見通し、個人目標について意思決定をします。児童一人一人が自らの生活や学習の目標を決め、その実現に向けて実践します。

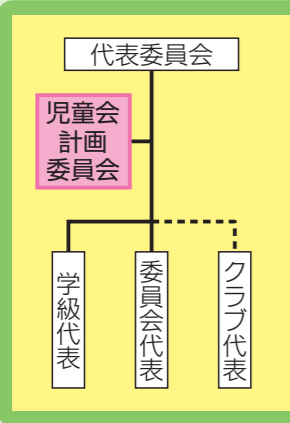
● 学級活動「(3)一人一人のキャリア形成と自己実現」／題材「中学校生活 に向けて」(第6学年)を例に



自発的, 自治的な活動で, 学校生活を楽しく豊かにする 児童会活動

児童会は全校の児童をもって組織する異年齢集団です。児童会の活動は、学校の全児童が主体的に参加できるようにすることが大切です。代表委員会を中心にして、主として高学年の児童が計画や運営を行います。異年齢集団の活動や学校行事への協力を積極的に行うことで、児童が自ら学校生活を豊かにすることができます。

代表委員会



代表委員会の計画や運営を行う組織として、児童会計画委員会を設置します。児童による自発的、自治的な活動となるように、教師の適切な指導のもと、児童が年間の活動計画を立てるなど、計画や運営に取り組むようにします。

問題を発見しよう

代表委員会 活動計画	
4	役割分担とめあての決定 年間計画の作成
5	運動会に向けて
6	運動会の反省 学校生活の諸問題について
7	各委員会からの活動報告
1	クラブ発表会の計画
2	6年生を送る会の計画、準備
3	1年間のまとめ 次年度に向けて 1年生を迎える会について



議題例として、「1年生を迎える会」、「6年生を送る会」、児童会集会活動の計画等があります。

児童会ポスト等や活動計画より	児童会ポストには「ろう下・階段を走る人が多くて危ない」というのが入っていました。安全に学校生活にするために、提案します。
学級からの提案より	私たちのクラスでは、学校の落ち葉が多くなったので、みんなで掃除をしたいという意見が出ました。全校で取り組み、きれいな学校にしたいので提案します。
各委員会より (図書委員会より)	読書週間が近いので、全校のみんながたくさん本を読んでもらうようにしたいです。今年は全校でキャンペーンをして、盛り上げたいので、提案します。
(体育委員会より)	全校のみんながなわとびが上手になるように、お昼休みになわとび大会を開きたいので、提案します。
低学年の先生より	低学年の子供たちは、たてわり班のお兄さんやお姉さんたちとずっと遊びたいとよく言っていますよ。「なかよし集会」など、交流する活動ができればいいですね。

活動を振り返り、次に生かそう

実践を定期的に振り返り、意識化を図るとともに、実践の継続や新たな課題の発見につなげます。

決まったことを知らせ、実践しよう

決まったことは、児童会新聞や校内放送等で全校に知らせます。各委員会の活動や児童会集会活動と結び付けて取り組むと効果的です。



ブック大好き集会
【司会】…集会委員会
【飾り】…掲示委員会
【放送】…放送委員会
【プログラム】…新聞委員会

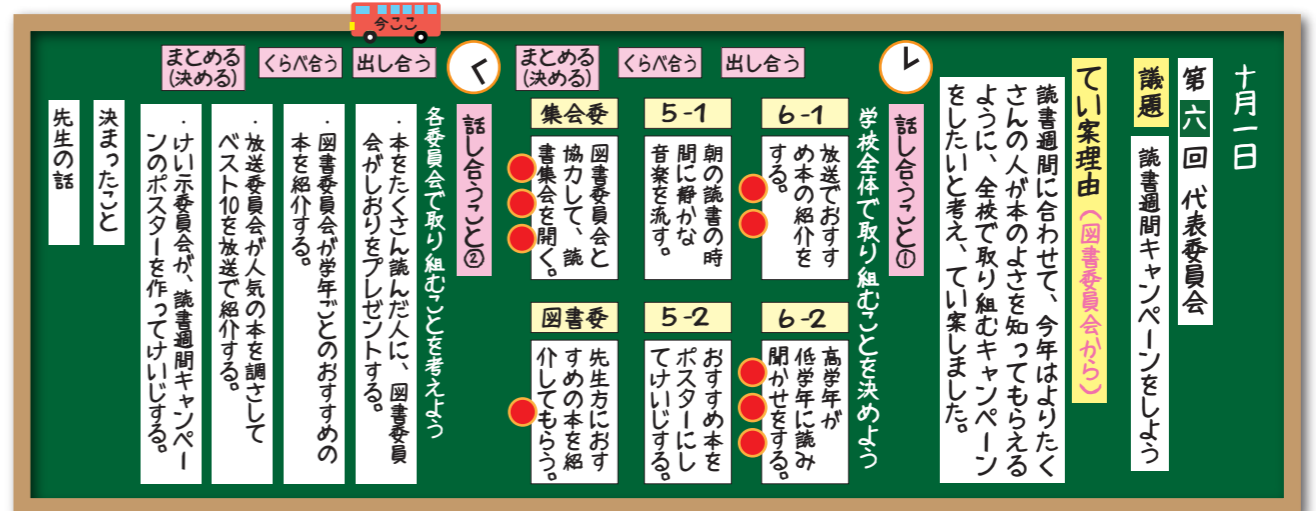
話し合おう・みんなで決めよう

ここでは、例として、読書週間に向けての全校での取組について代表委員会で話し合い、児童集会活動「ブック大好き集会」を実施する流れを示します。

- 児童会計画委員会で、議題を決め、全校に知らせ、各学級や各委員会で自分たちができる活動について話し合ってもらおう。
- 各学級代表、各委員会代表、クラブ代表(議題による)が集まり、代表委員会を開き、話し合う。

低学年・中学年の意見も事前に調査しておくなど、話し合いに反映できるように工夫します。また、決まったことも必ず伝えることができる仕組みをつくることで、学校への所属感が高まります。

話し合いの時間は、高学年の児童や各学年の教師が参加したり、参観したりしやすい時間に設定して、年間を通して活動ができるよう工夫することが大切です。



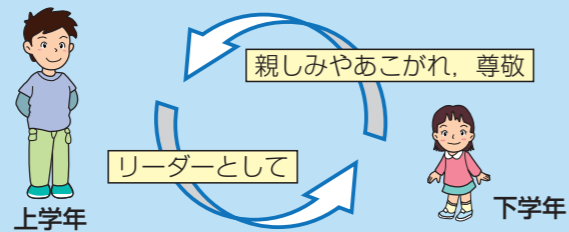
話し合いは、学級活動の経験を生かして行います。話し合いのグッズも全校統一しておくことでスムーズに進めることができます。

学級の意見は朝の時間等を利用して、委員会の意見は事前の委員会の時間を利用して話し合ったことを代表委員会に持ち寄ります。

議題や提案理由については、児童会新聞や校内放送等で全校に知らせます。提案者の思いや願いをしっかりと伝えることが大切です。

異年齢集団による交流

児童会が計画や運営を行う集会、遠足、遊び、給食等の活動において、学年や学級が異なる児童と共に楽しく触れ合い、交流を図ります。



中心となって活動を進める高学年の児童が、リーダーとしての経験を重ねながら自分の役割を果たします。

学校として、児童会活動とは別に日常生活の中で継続的に異年齢交流を行う活動を設定している場合は、育成する資質・能力を明確にした上で、児童会活動における「異年齢集団による交流」と連携を図って指導することが大切です。



委員会活動

主として高学年の全児童が、いくつかの委員会に分かれて、学校全体の生活を共に楽しく豊かにするための活動を分担して行います。
※委員会の所属は通年制で行うことが望ましい。



- 児童の発意・発想を生かし、創意工夫します。
- 一人一人の児童が、責任や役割を果たし、自己有用感や学校への所属感を高めることができますようにします。
- 活動の諸問題について話し合っ合意形成を図ったり、協働して取り組んだりして、異年齢集団における人間関係をよりよく形成できるようにします。

集会 新聞 放送 図書 環境美化 飼育栽培 健康 福祉 ボランティア 給食 運動

設置する委員会の種類の一例です。これ以外にも、各学校の教育の重点に関連させて設置することも考えられます。

共通の興味・関心を異年齢集団で追求する クラブ活動

クラブ活動は、主として第4学年以上の同好の児童によって、共通の興味・関心を追求する活動です。クラブ活動の目標が十分に達成され、三つの内容が行えるように、年間、学期ごと、月ごとに適切な授業時数を確保します。また、年間の行事予定や時間割に明確に位置付けて、継続的な活動ができるようにします。

オリエンテーション

クラブ活動の目標や意義、活動内容、クラブ例など、活動を行う上で必要となることについて理解できるようにします。

●クラブ見学の前に行います。

第3学年の終わりに実施しましょう。第4・5学年において実施することも考えられます。

- 好きなことや興味のあることを楽しむ活動です。
- 上級生と下級生が助け合って活動します。
- みんなで考え、計画を立てて活動します。

自分が興味をもって活動できるクラブを選びます。自分が何をしたいのかを大切にします。

自分で選ぶことができるから、クラブ活動は楽しいな。

自分たちで計画できるってうれしいよね。

クラブ見学・体験

次年度、どんなクラブに所属するかを決めるときの参考にするために、クラブの活動を見学したり体験したりします。

クラブ活動への関心を高め、よりよい選択につなげられるように指導します。

体験させてもらって、そのクラブの楽しさがよく分かりました。来年のクラブ活動が楽しみだな。

クラブの設置と所属

児童の共通の興味・関心を追求する活動であることを踏まえ、児童の希望を尊重したクラブ活動の組織づくりをします。

- 異学年の児童が所属し、協力して活動できるようにします。
- 年間を通して、継続して活動できるようにします。
- 活動場所を確保し、用具を整備するなど、活動の環境を整えます。
- 地域や学校の特色、伝統にも考慮します。
- 学校の約束を守り、安全に活動できるようにします。
- 個人に高額な負担がかからないようにします。

児童が設置してほしいクラブを調査して、児童の希望を第一に、学校の職員数や設備なども考慮しながら、教員が設置クラブを決定する方法が一般的ですが、児童の主體的な選択を尊重するための様々な工夫が考えられます。

児童の参画意識を高めるためにアンケート、希望調査などを生かす方法や、児童が作りみたいクラブを提案して仲間を募る方法もあります。

(1)クラブの組織づくりと計画や運営

年度当初に、クラブに所属する全員の児童が話し合って活動計画を立て、役割を分担して運営します。

- 教師が作成した指導計画に基づき、児童が協力して活動計画を立てることを支援します。

【板書の例】

はじめの言葉
出せかくにん
今日の活動内容とめあて
活動(し合・練習・し合)
後かたづけ
ふり返り
次の活動のかくにん
先生の話
おわりの言葉

1単位時間についても計画を立て、見直しをもって主体的に活動を進めます。

クラブ活動の話合いも、学級会の経験を生かします。

(2)クラブを楽しむ活動

年間、学期、毎時の活動計画に基づいて、創意工夫しながら異学年の友達と仲よく協力しながら、共通の興味・関心を追求して楽しみます。

- 技能の上達だけが目的ではありません。仲間と協力して活動できる喜びを実感できるようにします。
- 発達段階や経験の違いによる技能差に配慮し、ルールや実施方法を工夫します。
- 準備から運営まで児童が主体の活動ですが、教師は安全上の配慮や児童の見取りを大切にします。
- 上級生が下級生を思いやり、下級生が上級生に尊敬や憧れの気持ちをもてるように支援します。

振り返り

活動を振り返り、次の活動に生かします。

活動記録カードをクラブファイル等にためることで、児童が自分の成長を認識することもできます。

活動 分担された役割を果たしたり、活動を楽しんだりします。

活動によっては、クラブ同士や地域の人との交流も考えられます。

クラブ活動の経験から、自分のよさや可能性を広げ、将来の生活に生かすことができます。

(3)クラブの成果の発表

クラブ発表会等で、自分たちのクラブのよいところや活動の成果を全校児童や地域・保護者に発表し、児童の活動意欲を高めます。






クラブ発表会の他に、学校行事での発表や、地域の人々への発表、校内放送、展示などの方法で発表することも考えられます。

運動会ときの器楽クラブの演奏がすてきだったな。来年は器楽クラブに入りたいな。






学校の特色を生かし、学校生活の折り目や彩りとなる学校行事

学校行事は、学校や学年など大きな集団で児童が協力して行う活動です。仲間と一緒に感動した本物の体験は、学校生活を豊かにします。また、児童が所属感や連帯感を実感することも、共生社会の担い手を育てることにつながります。

- 五つの種類の学校行事をすべての学年で行います。それぞれの学校行事のつながりを意識できるようにし、児童の力を伸ばします。
- 学校行事の指導ではオリエンテーションが大切です。その学校行事を行う意義を児童が理解し、各自が目標をもって取り組むことができるようにします。

<p>(1) 儀式的行事 清新な気持ちを味わい生活に折り目をつくる</p> <p>入学式・卒業式・始業式・修了式・離任式・周年行事・朝会等</p> <p>●教師の語りかけの例 始業式は一つの区切りです。支えてくれている人たちに感謝して、これから、どんな自分を目指すのかを決める学校行事です。</p> <p>卒業式は、6年間の最後の授業です。中学校生活に向けて、新たな希望をもつ行事です。</p> 	<p>(2) 文化的行事 文化や芸術に親しみ豊かに生活する</p> <p>音楽会・学習発表会・展覧会・学芸会 芸術鑑賞会等</p> <p>●教師の語りかけの例 学芸会は、これまで学習したことを生かし、自分らしく活躍したり、友達のよさを見つけたりする学校行事です。</p> <p>学習発表会は、日頃の学習成果を発表して美しいもの、よいものをつくり出す学校行事です。</p> 	<p>(3) 健康安全・体育的行事 健康な心と体、安全な生活をつくる</p> <p>運動会・なわとび 避難訓練・防災訓練 大会・健康診断・練習等</p> <p>●教師の語りかけの例 運動会は、自一杯挑戦します。して協力し、団つくなっていく自分の目標に向かって精一人一人が責任を果た結してよりよい学校を校行事です。</p> <p>防災訓練や交通安全教室は、事件や災害から身を守り安全に行動する方法、態度を身に付ける学校行事です。</p> 	<p>(4) 遠足・集団宿泊的行事 互いを思いやり、協力し合うことの大切さを知る</p> <p>遠足・自然教室・修学旅行等</p> <p>●教師の語りかけの例 遠足は豊かな自然や文化に触れる体験や、校外における集団活動を通してふれあいを深める学校行事です。</p> <p>自然教室は自然に触れて理解を深めて、自然を守り、共に生きていく大切さを学ぶ学校行事です。</p> <p>集団宿泊活動は一定期間(5日間程度など)にわたって行うと効果的です。</p> 	<p>(5) 勤労生産・奉仕的行事 人の役に立つ喜びを知る</p> <p>大掃除・飼育栽培活動・地域清掃活動・福祉施設との交流等</p> <p>●教師の語りかけの例 大掃除は、お世話になった教室に感謝の気持ちをもって、自分たちの学校をきれいにし、みんなで気持ちのよい学校をつくっていく学校行事です。</p> <p>地域清掃活動は、地域の方と協力しながら、一緒に掃除をし、よりよいまちをつくっていく学校行事です。</p> 
---	--	---	--	---

● 学校行事は、教師の適切な指導の下、児童の主体的な活動を促します。

<p>卒業式は大事な儀式だから、座る姿も気を抜かず、6年生のために、私たち在校生が緊張感をもって参加しよう。</p> 	<p>今年の運動会も応援団で盛り上げよう。応援の仕方をみんなで考えて、下級生に教えてあげよう。</p> 	<p>地域の清掃活動では、美化委員会が地域の方たちに招待状を出してはどうか。ポスターを作って貼るのもいいね。</p> 
<p>全校遠足では、異学年グループを活用して、どの学年でも楽しめるようなゲームを行って絆を深めよう。</p> 	<p>音楽会では歌詞の意味を考えながら歌おう。パート練習は、お互いに教え合いながら、ハーモニーの美しさをみんなに伝えられるようにしましょう。</p> 	<p>集団宿泊活動では、普段見られない昆虫や植物を探して自然に親しんだり、友達と声をかけ合い協力してオリエンテーションをしたりしてもっと仲よくなろう。</p> 


◎ 学校行事の種類によって、一部を児童の発意・発想を生かした計画に基づいて実施したり、児童会の活動内容を生かした活動を取り入れて実施したりすることも考えられます。

● 振り返りでは、オリエンテーションで確認した学校行事の意義や自分で考えた目標に沿って考えるようにします。

- 準備や練習のときから、活動後に各自の振り返りを言葉等で共有する時間をとります。
- 自分の成長を残すことができるように、学校行事の活動を文章にまとめたり絵を描いたりします。

振り返りの視点

- ・ 目標がどの程度達成できたかを確認する視点
- ・ 自他のよさと課題を見つける視点
- ・ 学校行事による学びを日常に生かしていこうとする視点
- ・ 新しい目標を設定し、次の活動につなげようとする視点



経験したことを、言葉でまとめたり、発表し合ったりする方法例

- 【話す・聞く】 みんなの前で各自が振り返りを発表し、互いの振り返りから自分の考えを深める。
- 【書く・描く】 学校行事の感想を書いて文集にまとめる。学校行事ファイルを作って、振り返ったことを書き溜める。お世話になった方へのお礼の手紙を書く。他の学年の演技の感想を書き、大きな模造紙などにまとめて貼る。
- 【発表する】 学校行事で学んだことを他の学年や保護者に伝える。

児童同士のつながりが深まり、どの子にも居場所をつくります

主体的な活動の経験は、学級づくりや教科等の学習にも役立ちます

保護者や地域への活動の発信は、信頼や協力を得ることにつながります

<p>特別な配慮が必要な子供も自分らしく、思い切り活躍できるのよね。</p> 	<p>こんな仲間と出会って私は最高に幸せです。</p> <p>全校のために、しっかり動こう。みんなが喜んでくれて嬉しい。</p> 	<p>学校行事を通して子供がまとまって、一つの目標に向けて協力して取り組むことで、いい学級になってきたな。</p> 	<p>体験活動のまとめや振り返りを重ねることで、子供の普段の学習や生活にも主体性や積極性が高まりました。</p> 	<p>地域とも連携した運動会になれば、地域も元気になりますね。町内会でも協力したいと思っています。</p> 	<p>子供が生き生きしているよい学校だと、地域で評判です。</p> 
--	--	---	--	---	---

特別活動の充実につながる教室環境の工夫

学級活動の指導において、掲示物をはじめとして教室環境を工夫することは児童への意欲付けに効果的です。教室内の様々な掲示物と関連させた事前・事後指導を行うことで、児童が自主的・実践的に生活向上に取り組んだり、主体的に自分の生活改善に努めたりするなど、実践への意欲が高まります。


『学級のあゆみ』の視覚化

学級会で話し合っ実践した活動や学校行事などの体験活動を「学級のあゆみ」として掲示することで、学級としての歴史を視覚化でき、自分たちの成長を振り返ることにつながることも、学級への愛着や誇りが芽生えます。

○組 学級のあゆみ

4月

○年○組が
36人でスタート!
「どうぞよろしくの会」をやって仲よくなったよ。



5月

○○公園への遠足
バスレクでやった○○ゲームが楽しかったね。バスレク係さんありがとう!

感動したことや学んだことを学級全体で共有化すること、それぞれの活動をより豊かに残すことができます。真を貼って振り返りや学校行事や1年間の活示したりすることも考

学級活動コーナーの設置

学級活動コーナーに、事前に議題等を厚紙等を活用して掲示しておきます。学級会の計画委員会で使う道具を設置しておくことで、児童が自由に活用できます。また、学級会に向けた活動の流れを掲示しておくことで、児童が活動の見通しをもって計画、運営ができるようになります。さらに、議題を短冊にしておくことで、学級会の板書の掲示にそのまま使ったり、お知らせや記録に使ったりすることができます。

学級活動コーナー

話し方・聞き方

話し合いのめあて
みんなの仲がより深まるよ。
楽しい内容を工夫を考えよう。

話し合いのめあて
みんなの仲がより深まるよ。
楽しい内容を工夫を考えよう。

学級オリピックの種類

① オリピックの種類
② みんなの仲が深まる工夫

次回○月○日の学級活動の計画

議題

学級オリピックをしよう。

提案理由

一学期のお楽しみ会では、みんながゲームをして楽しく過ごしました。今度は、オリピックのようにチームをつくって○年の○組のオリピックの種類にチャレンジしたら楽しいし、もっと仲よくなる工夫ができると思っ、ていあんしました。

司会グループ
A ○○さん ○○さん
B ○○さん ○○さん
C ○○さん ○○さん
D ○○さん ○○さん

今回の計画
委員会メンバー

司会
○○さん
黒板記録
○○さん
ノート記録
○○さん

前回の学級会で決まったこと

児童会活動・クラブ活動のお知らせ

委員会活動や代表委員会、クラブ活動に関わるお知らせコーナーをつくり、児童の意欲を高めます。

児童会活動・クラブ活動のお知らせ

代表委員会 だより	児童会活動のお知らせ

文具・活動資料

学級会や係活動、集会活動等において、児童が主体的に活動できるように、自由に使える文具を用意しておくことが大切です。また、学級会や係活動、集会活動等のための資料や本などを児童が活用できるようにしておくことで、活動内容を創意工夫することにつながります。

係活動
学級活動
ファイル

付箋
名札
のり

黒板
ノート
係ポスト

ラミネートカード
折り紙

画用紙
色画用紙

カラーマグネット
板マグネット

話し方・聞き方

(3)ウ 主体的な学習態度の形成と学校図書館等の活用

掲示物を活用して、「自分の考えを分かってもらおう」「友達の考えを分かろう」とする姿勢を生かす話し方・聞き方について、学級会や教科等の学習の際に適切に指導することができます。

はなしかた あいさつ
あしひかりの
いそがず ゆくこ
うむかなし
えがおていきいき
おわりまで はなす

学級活動(2)(3)の指導においても、給食や掃除の当番表、校内のきまり、学習の仕方に関する掲示などと関連させて指導すると効果的です。活動の継続や振り返りにも掲示物を活用することができます。

生活目標の取組例

(2)ア 基本的な生活習慣の形成

生活目標や学校の決まりなどの掲示と関連させて、「(2)ア 基本的な生活習慣の形成」に関する実践的態度に結び付く効果的な指導をします。

○○小のやくそく

○組のめあて
あじこをしよう

○月の生活目標
元気にあじこをしよう

教室に入るときは大きな声であいさつをしよう

係活動コーナー

係活動のコーナーを作って係のメンバーや活動の目標を掲示し、振り返りができるようにします。活動のアイデアを募集する係ポストや係活動ノート(係で話し合ったことなどを記録する)などを児童がすぐに手にとれるようにしておくことは、活動の充実につながります。

係活動コーナー

ハッピーバースデー係

10月の
おたん生日
○○さん
○○さん

新聞係

10月号は「学級オリピック特集」です。

レクリエーション係

アンケートの結果
1 おにごっこ
2 ドッジボール

生き物係

おもしろ生き物図かんをつかったので見てください。

歌係

議題ポスト

議題ポスト(提案用紙)

議題ポストを設置することで問題意識を高め、指導したいときにすぐ議題を提案することができます。取り上げられなかった議題も大切に、どのように扱うか返事をするなど、提案者の思いを大切にします。

学級会グッズのあれこれ

学級会の板書に使うカード(議題、決まっていること、時計カード、決定マーク、短冊、ネームカード等)

保健だよりや給食だより等の活用例

(2)ウ 心身ともに健康で安全な生活態度の形成

保健目標や保健だより、避難経路などの掲示と関連させて健康で安全な生活が送れるように指導します。

(2)エ 食育の観点で踏まえた学校給食と望ましい食習慣の形成

学級活動の時間に取り上げる食に関する指導では、学校給食を教材として活用します。その指導においては、給食献立表や関連の掲示物を効果的に扱うなど、多様な指導方法を工夫します。

学校だより

学年だより
学級だより

保健だより
歯みがき週間
歯みがきしよう!

給食だより
○月の献立

当番や日直

(3)イ 社会参画意識の醸成や働くことの意義の理解

当番活動などについて、学級活動(3)の授業で取り上げ、単なる与えられた役割を果たすだけでなく、働くことの意義の理解につなげます。

避難のきまり
おさない
おはしらない
しゃべらない
もどらない

避難経路図

日直の仕事

当番表
給食
そうじ